

モーリシャス

# 目次

基本情報 .....	4
電気通信、放送および郵便分野 .....	4
概要 .....	4
事業における現在の規模とスコープ .....	5
電気通信および郵便事業における主要プレーヤー .....	5
携帯電話とインターネット .....	5
固定回線インターネット .....	7
有線音声及びブロードバンド .....	7
テレビ、ラジオ .....	7
規制機関 .....	8
法律および規制 .....	8
電気通信および放送における法律、規制に関する情報 .....	8
標準団体 .....	9
ラジオ波管理政策に関する動向 .....	9
郵政公社 .....	9
ICT スタートアップを含む ICT の活用 .....	11
ICT に関する基本情報 .....	11
ICT に関する主な支援施策 .....	12
政策 .....	12
インキュベーター、スタートアップ支援機関 .....	12
イベント実施の情報 .....	12
ICT の活用事例の紹介 .....	13
特定セクターにおける ICT の活用成功事例 .....	13
市場の動向 .....	13
国際機関 .....	14
現地の専門家に関する情報 .....	14
人口見通し .....	15
都市人口 .....	16
従属人口比率 .....	17
年齢別人口 .....	18
GDP 長期予測 .....	19

1 人当たり GDP 長期予測 .....	20
-----------------------	----

## 基本情報

モーリシャス経済<sup>1)</sup>は、1968年の独立以降農業をベースとした経済から脱却し、金融、観光、ICTなど産業多角化を図ることで著しい発展を遂げた。公平な所得分配、平均寿命の延び、インフラ整備の進展など社会環境の改善が図られている。現在では、これまでの主要産業である製糖、観光、繊維・アパレルから脱皮し、オフショア国際金融サービス、ICTサービス、イノベーション分野などに移行するための経済政策を積極的に進めている。アフリカ諸国を中心とした投資協定の締結も積極的に進め、アフリカへの投資拠点となることを目指している。モーリシャスの投資環境はアフリカ域内でもトップクラスで、汚職・腐敗についてもアフリカで最も少ない国のひとつとされる。世銀が毎年発表するビジネス環境ランキング（Doing Business）でも常に域内上位となっている。経済競争力の維持と長期的な成長戦略のためにビジネス促進法（Business Facilitation Act）を策定するほか、政府が輸出促進や対内投資の誘致を主導するための国家経済開発委員会（National Economic Development Board）を設立するなどの取り組みを進めている。

1968年に英国から独立して以来、民主的かつ平和的に政権交代が行われている。2000年の総選挙では、当時のナヴィン・ラングーラム政権の経済運営などを批判した野党連合が勝利し、モーリシャス社会主義運動（MSM）党首のアヌルード・ジャグナット氏を首相とする新政権が発足した。その後2005年の総選挙では再びラングーラム労働党党首が勝利し、首相に返り咲いた。ラングーラムは2010年に再任したが、2014年の総選挙では、憲法改正を行い大統領の権限を強化する案に対する国民の信任が得られず大敗し、再びアヌルード・ジャグナット政権が発足した。2017年1月、アヌルード・ジャグナット首相は首相職を辞し、与党MSM党首で財務・経済開発大臣を務めていた息子のプラヴィン・クマール・ジャグナットが後継の首相に就任した。

言語	フランス語、クレオール語
首都	ポートルイス
通貨	モーリシャスルピー（MUR）
現在の為替レート（xe.comよりオンラインで確認）	1ドル=36.3084 MUR
会計年度（会計年度文書）	7月1日～6月30日
首相	プラヴィン・クマール・ジャグナット首相
政治制度	共和制
次期大統領選挙年	2020年

## 電気通信、放送および郵便分野

### 概要

BMI リサーチは、モーリシャスをアフリカ諸国の中で最も発展した通信市場のひとつであると位置づけている。モバイル普及率は統計では一部のアフリカ諸国よりも低いものの、実際にモバイルサービスにアクセスできる人口割合は他国よりも大きいと指摘している。

<sup>1)</sup> 米中央情報局（CIA）ウェブサイト、日本外務省等の資料による。

統計で普及率が低く示される要因として、他国と異なり複数の SIM カードを保有している割合が低いことを挙げている。

## 事業における現在の規模とスコープ

人口（単位：1,000 人）	1,272
固定電話の契約件数（単位：1,000 件）	429
固定電話の普及率（%）	33.7
携帯電話契約件数の将来予測（2022 年）（BMI）（単位：1,000 人）	33.6
携帯電話の契約件数（単位：1,000 件）	1,913
携帯電話の普及率（100 人あたり）	150
2022 年までの携帯電話の将来予測（単位：1,000 台）	1,854
スマートフォンのユーザー数（単位：1,000 人）	1,324
スマートフォンの普及率（%）	104
2023 年までのスマートフォンの将来予測（1,000 台）	1,465
TV 普及率（%）	92.8
有料 TV 契約者数（衛星・デジタル）（単位：1,000 人）	n/a
Facebook ユーザー数（世界インターネット統計-推定）（単位：1,000 人）	700
Facebook 普及率（100 人あたり）	55
ラジオ普及率（旧データ）	n/a
インターネットユーザー-モバイルブロードバンド（スマートフォン含む）（単位：1,000 人）	1,421
インターネットユーザー-モバイルブロードバンド（USB ドングル、ノート PC の SIM）（単位：1,000 人）	97
インターネットユーザー-固定回線ブロードバンド（単位：1,000 人）	267
光ファイバー接続数（単位：1,000 本）	194
人口アクセス率（少なくとも 3G ネットワークによるカバレッジにアクセスできている人口の割合）（%）	99

（出所） BMI リサーチ

## 電気通信および郵便事業における主要プレーヤー

### 携帯電話とインターネット

モーリシャスのモバイル市場では、フランス Orange と政府系 Mauritius Telecom の合弁ブランドである my.t が圧倒的首位を占めている。加入者数は 92 万 6,000 人で市場シェア 54.0%に上る（ともに 2017 年 12 月末時点）。2000 年に Orange が Mauritius Telecom の株式 40%を取得して、戦略的パートナーになった。市場 2 位の事業者は Emtel で、加入者数は約 54 万人で市場シェアは推定 31.5%（ともに 2017 年 12 月末時点）となっている。そのほか、市場シェアは最小であるがインド Mahanagar Telephone Nigam (MTNL) が所有・運営する CHILI が市場に参入している。加入者数は約 24 万 7,000 人（2017 年 12 月末時点）と推定されている。これら 3 社の概要は次のとおりとなっている。

### < Orange/Mauritius Telecom >

株式構成は、フランス Orange S.A.が 40%、モーリシャス政府 33.45%、SBM Investments Managers19%、モーリシャス国家年金ファンド 6.55%、従業員 1%となっている。2000 年に Orange が戦略的パートナーとして Mauritius Telecom の株式 40%を取得した。固定回線、モバイル、インターネット、テレビ、モバイルマネーサービスを提供している。2017 年にすべてのサービスをブランド「my.t」に統一した。

設立 : 1988 年  
連絡先 : Telecom Tower, Edith Cavell Street, Port Louis, 11302, Mauritius  
電話 : +230 203 7000.  
ファックス : +230 208 1070  
従業員数 : 2,338 人  
主要幹部 : シェリー・シン氏 (CEO)、ナタリー・クレア氏 (COO, Deputy CEO)  
ホームページ : <https://www.myt.mu/>

### < EMTel >

地場 Currimjee Jeewanjee & Company が最大株主で、インドの大手携帯電話事業者 Airtel とパートナーシップ関係にある。Emtelは携帯電話事業のほかにも多様な通信サービスを総合的に提供し、顧客も個人から企業まで幅広い。2004 年にはアフリカで初めて 3G ネットワークを導入した。

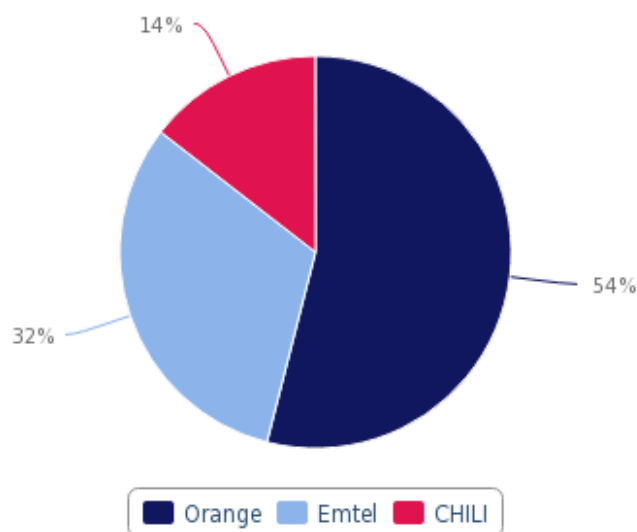
連絡先 : EmtelWorld, 10 Ebene Cybercity, Ebene 72201, Mauritius  
本社 : +230 572 95400  
ファックス : +230 454 1010  
E メール : [emtel@emtel.com](mailto:emtel@emtel.com)  
設立 : 1989 年 5 月 29 日  
主要幹部 : テディ・ブラー氏 (CEO)、エドゥ・サハウド氏 (CFO)  
ホームページ : <https://www.emtel.com/>

### < CHILI >

インド政府所有の電気通信会社 Mahanagar Telephone Nigam (MTNL) の完全子会社である Mahanagar Telephone Mauritius (MTML) が運営するブランド。2003 年に設立され、携帯電話サービスや国際通話サービスを提供している。

連絡先 : 'MTML SQUARE', 63, Cyber City, Ebene, Mauritius  
電話 : +230 5294 3333  
ファックス : +230 5294 0606  
E メール : [mtml@mtmltd.net](mailto:mtml@mtmltd.net)  
設立 : 2003 年 11 月 14 日  
主要幹部 : サンジェイ・ガーク氏 (CEO)  
ホームページ : <https://www.chili.mu/>

## 携帯電話事業者別の市場シェア、2017年第4四半期



出典：Fitch Solutions

### 固定回線インターネット

モーリシャスは人口規模が小さく、経済も発展していることから、普及率という点ではアフリカで最も発達した固定回線市場を有している。所得水準も高く、ICT市場が発展していることに鑑みれば、ICT事業者は有線通信・移動体通信を組み合わせた通信サービス（converged fixed-mobile services）を市場に投入することが可能だ。ブロードバンドサービスも高度に発達している。BMIリサーチは、光ファイバーネットワークへの投資拡大とLTEネットワークへの継続的な投資に支えられて、ブロードバンド接続は2017年から2027年にかけて堅調に成長すると予測している。

### 有線音声及びブロードバンド

モーリシャスの既存の事業者 Mauritius Telecom は、電気通信省（the Department of Telecommunications）による民営化により、1988年に設立された。2003年に競争政策が導入されたが、依然として同社が固定電話サービスの主要プロバイダーとなっている。モーリシャス情報通信技術局（ICTA）のデータによると、国内固定回線数は2016年には39万、2017年末には約41万3,000だった。うち企業顧客数は約7万1,000であった。2017年のブロードバンドインターネット加入者数は約99万1,900人で、うちモバイルブロードバンド加入者が約74万3,925人と大半を占めた。

### テレビ、ラジオ

Mauritius Telecom が提供する IPTV サービスの my.t では、セットボックスを介して多数のプレミアムデジタルチャンネルを視聴することができる。付属サービスとして、映画などを購入できる Video On Demand（VOD）のほか、そのほかインターネットブロードバンド接続を利用できる my.t Surf や、低料金で国際電話が利用できる my.t Talk など含まれる。

MyTuner からは 22 のラジオ局が選択できる。主なラジオ局は次のとおり。  
主要ラジオ局：Radio Plus、Radio One R1、Top FM、MBC Best FM、MBC Kool FM、MBC Music FM、Planet FM、Radio Moris、MBC Radio Mauritius、HitFM Mauritius

## 規制機関

モーリシャス情報通信技術局（ICTA）

連絡先 : Level 12, The Celicourt 6, Sir Celicourt Antelme Street, Port Louis, Mauritius

電話 : +230 211 5333

ファックス : +230 211 9444

E メール : [info@icta.mu](mailto:info@icta.mu)

ホームページ : <https://www.icta.mu/>

2001 年後半に情報通信技術局法が議会で可決され、法人格を持つ ICTA が創設された。モーリシャス国内で通信事業を展開したい事業者は、ICTA にライセンスを申請する必要がある。ICTA は周波数の割り当て機関でもある。また、認証機関の管理者（the Controller of Certification Authorities、CCA）でもあり、デジタル署名証明書の発行を許可されているすべての認証機関の技術、インフラストラクチャー、業務を承認するほか通信サービスの消費者保護責任も担っている。

## 法律および規制

### 電気通信および放送における法律、規制に関する情報

ICT Acts	ICT 法
The Data Protection Act 2017	2017 年データ保護法
Computer Misuse and Cyber-Crime Act 2003	2003 年のコンピュータの誤用及びサイバー犯罪法
Postal Services Act 2002 (as amended)	2002 年郵政法（改正後）
The Information and Communication Technologies Act 2001 (as amended)	2001 年情報通信技術法（改正後）
The Electronic Transaction Act 2000 (as amended)	2000 年電子取引法（改正後）
Independent Broadcasting Authority Act 2000 (as amended)	2000 年独立放送局法（改正時）
Copyright Act 2014	2014 年著作権法
Child Protection Act	児童保護法

申請者とライセンス保有者は、上記の法律について官報の公式刊行物を参照する必要がある<sup>2</sup>。

<sup>2</sup> <https://www.icta.mu/acts.html>



## 標準団体

ICTA は 2017 年 12 月に 2017 年電気通信指令第 2 号（The Telecommunication Directive 2 of 2017）を発行した。この新たな指令は、2014 年電気通信指令第 1 号（The Telecommunication Directive 1 of 2014）の条項 3.12 によって定められた処理の内容を修正するものであった。具体的には、輸入業者や製造業者がラベルの要件を満たし、モーリシャスにおける規格に適合するよう求めるものである。2018 年 1 月には、型式承認に関してモーリシャスの認可取扱業者の要件に対応する規則を改定した。新たに型式承認の免除対象となった製品（Wi-Fi 等）は市場監視の対象であり、現地の取扱業者はコンプライアンスファイル（ETSI 規格）を記録しておく必要がある。

国特有の認証が必要か、それとも CE/FCC 承認だけで十分か？	国特有の認証が必要
承認を得るために必要なリードタイムはどのくらいか？	3～4 週間
標章やロゴの要件はあるか？	ない
国内での試験は必要か、それとも既存の FCC または CE による試験報告書を活用できるか？	CE マーク試験報告書を申請書類の一部として活用できる。
国内で承認が必要となる種類の機器は何か？	WIFI、Bluetooth、携帯電話、衛星などの通信技術を搭載したほとんどの製品
現地の代表者または現地の認定証明書保持者が必要か？	現地の代表者が必要

## ラジオ波管理政策に関する動向

### 周波数政策

関連情報を含む文書へのリンク <https://www.icta.mu/docs/laws/Licensing&fees.pdf>

### 無線通信免許制度

関連情報を含む文書へのリンク <https://www.icta.mu/docs/laws/Licensing&fees.pdf>

### 無線周波数料金の徴収

返金不可の申請手数料 2,000 ルピーは、徴収日程（the Schedule）で指定された商用またはプライベートネットワークライセンスの申請時に当局に支払う。

関連するすべての手数料を記載した文書へのリンク

<https://www.icta.mu/docs/laws/Licensing&fees.pdf>

## 郵政公社

国営 Mauritius Post が郵便サービスを提供している。Mauritius Post は電子商取引戦略のもと、2018 年 8 月からは電子送金サービスを実施している。そのほか小包配送（国内・国際・地上空輸）、切手付き封筒、切手及び航空便、国際返信クーポン、ビジネス返信サービス（国内・国際）、局留め、電報-国内、書留速達、配達通知書、郵送証明書、私書箱貸

与、集配、郵便料金前払い、郵便転送。郵便料金別納証サービス、保険付き郵便（手紙・小包）などのサービスを提供している。光熱費などの公共料金支払い、郵便為替サービス、銀行サービス、公的年金の支払いサービスなども提供している。

**The Mauritius Post (MPL)**

住所 : 1, Sir William Newton Street, Port Louis 11328

電話 : +230 208 0033

Fax : +230 212 9640

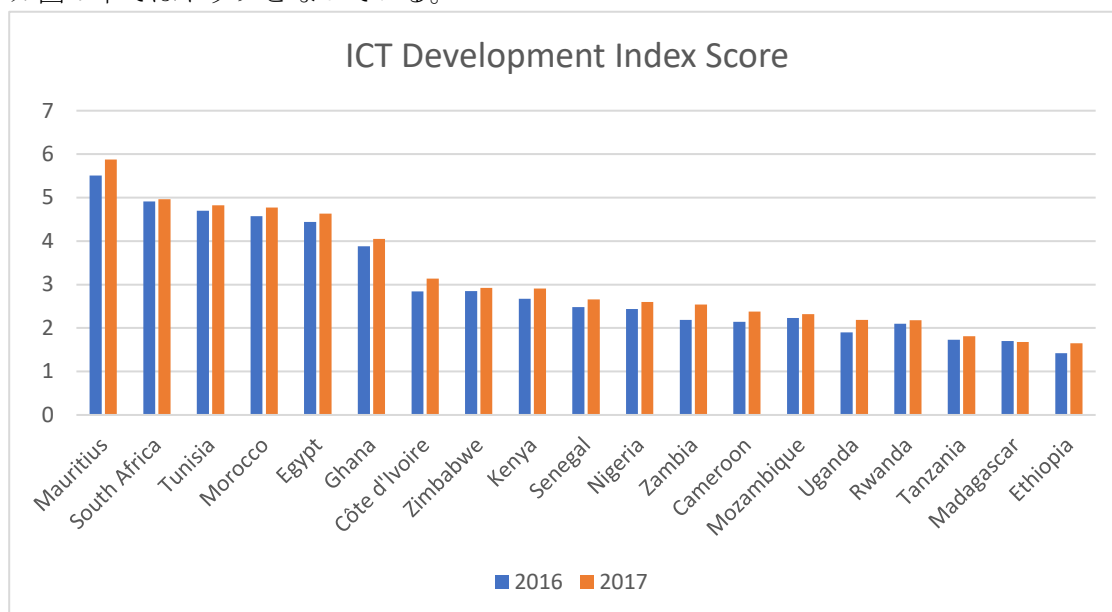
Email : pohqs@intnet.mu

ホームページ : <https://www.mauritiuspost.mu/>

## ICT スタートアップを含む ICT の活用

### ICT に関する基本情報

国際電気通信連合（ITU）の ICT 開発指数をみると、モーリシャスは下表のアフリカ主要 19 カ国の中ではトップとなっている。



### ICT 開発指数

国名	2016年 (指数)	2017年 (指数)	世界ランキング 2017年 (位)
モーリシャス	5.51	5.88	72
南アフリカ	4.91	4.96	92
チュニジア	4.70	4.82	99
モロッコ	4.57	4.77	100
エジプト	4.44	4.63	103
ガーナ	3.88	4.05	116
コートジボワール	2.84	3.14	131
ジンバブエ	2.85	2.92	136
ケニア	2.67	2.91	138
セネガル	2.48	2.66	142
ナイジェリア	2.44	2.60	143
ザンビア	2.19	2.54	146
カメルーン	2.14	2.38	149
モザンビーク	2.23	2.32	150
ウガンダ	1.90	2.19	152
ルワンダ	2.10	2.18	153
タンザニア	1.73	1.81	165
マダガスカル	1.70	1.68	169
エチオピア	1.42	1.65	170

(出所) 「ICT 開発指標」 (ITU)

## ICTに関する主な支援施策

### 政策

モーリシャス政府は 2015 年に ICT 戦略計画のひとつである「スマートモーリシャス (Smart Mauritius)」スキームを策定した。手頃な価格で国民にブロードバンドサービスを提供し、イノベーションを促進し、モーリシャスを域内の ICT ハブ立国にすることを狙いに定め、新たな光海底ケーブルの敷設を含む ICT インフラ整備を進めている。

### インキュベーター、スタートアップ支援機関

モーリシャスの主なスタートアップ支援機関やコワーキングスペースは次のとおり。

施設名	概要
<b>Turbine</b>	地場ビジネスグループ eNL が運営するコワーキングスペース。スタートアップ向けのインキュベーター機能とアクセラレーターの役割も担う。 ホームページ： <a href="https://turbine.mu/">https://turbine.mu/</a>
<b>Co working Port Louis</b>	月極契約でオープンスペースのほか、個人オフィス（2～6 席）やシングルデスクの利用が可能。共用会議室や食事ができる屋外スペース、共有自転車なども提供されている。 ホームページ： <a href="http://coworking.mu/">http://coworking.mu/</a>
<b>The Ground Collaborative Space</b>	100 以上のオフィス席を提供している。オープンスペース、個室型オフィス、会議室は会員なら誰でも無料で使用できる。 ホームページ： <a href="http://www.theground.mu/">http://www.theground.mu/</a>
<b>Fast Hub</b>	ビジネスセンターとコワーキングスペースを提供。1,500 平方メートルの敷地に、45 の個室が設けられている。 ホームページ： <a href="http://www.fasthub.mu/en/">http://www.fasthub.mu/en/</a>
<b>The Hive</b>	国内 4 カ所でコワーキングスペースを運営。オープンスペースのデスクのほか、個室型オフィス、会議室、無料 WiFi、起業家コミュニティにおける交流イベントなどを提供。 ホームページ： <a href="http://www.thehive.mu/">http://www.thehive.mu/</a>

### イベント実施の情報

#### ●モーリシャス・イノベーション国際会議 (Innovation Mauritius International Conference)

日時：2019 年 10 月 18 日（金）

場所：Caudan Arts Centre, Mauritius

内容：テーマは「変革的イノベーションがビジネス組織、特に銀行、金融サービス、保険のやり方をどのように再形成しているか」。

ホームページ：<https://www.innovationmauritius.com/>

## ●MTMI モーリシャス国際会議

(Modern Technology and Management Institute (MTMI) Mauritius International Conference)

日時：2019年12月20日(金)～22日(日)

場所：Amity Global Business School, Mauritius, Mauritius

内容：世界中からテクノロジー分野の学者や実務家が参加。会議を通じて戦略策定を図る。

ホームページ：

[http://mtmi.us/iac/wp-content/uploads/2019/02/MTMI\\_Mauritius\\_2019\\_Draft2\\_Revised\\_CFP.pdf](http://mtmi.us/iac/wp-content/uploads/2019/02/MTMI_Mauritius_2019_Draft2_Revised_CFP.pdf)

## ICTの活用事例の紹介

### 特定セクターにおけるICTの活用成功事例

企業名	分野	概要
SIL	医療	民間医療機関や医療従事者向けに設計された医療関係の情報ソリューションシステム。電子カルテなどを提供。小規模の民間クリニックから大規模な国民健康保険制度まで多岐にわたる情報の統合・保存・管理などを行う。 ホームページ： <a href="https://sil.mu/products/infrastructure/health-information-system-for-clinics-hospitals/">https://sil.mu/products/infrastructure/health-information-system-for-clinics-hospitals/</a>
Mauritius Tourism Corporate	観光	Discover と呼ばれるアプリを配信し、モーリシャスの絶景スポットの情報などを観光客に提供している。 ホームページ： <a href="https://www.tourism-mauritius.mu/en-int/discover-mauritius-mobile-application">https://www.tourism-mauritius.mu/en-int/discover-mauritius-mobile-application</a>

## 市場の動向

報道や各種公開情報などをもとに、モーリシャスのICT市場の特徴をまとめると次のようなポイントが挙げられる。

- ・モーリシャス政府は、デジタルモーリシャス2030戦略計画（Digital Mauritius 2030 Strategic Plan）を策定し、ICT立国を目指した積極的な政策を打ち出している。
- ・政府のイニシアチブによるICTインフラ整備も進められ、モーリシャスはアフリカ地域のICTハブとしての地位を着実に確立しつつある。
- ・世界的なICTプレーヤーがモーリシャス市場に参入し、デジタルインフラ整備のための最新機器の投入やネットワーク網の構築を進めている。
- ・なかでもHuaweiは、アフリカ初の3Gネットワークを同国に導入。その後も、4Gネットワークの構築、安定した高速データサービス、FTTHソリューションの活用による家庭へのファイバー接続率の向上などのためのビジネスを展開している<sup>3</sup>。

<sup>3</sup> <https://consumer.huawei.com/mu/>

## 国際機関

モーリシャス政府 2019 年 8 月、国連開発計画（UNDP）とエストニア政府が立ち上げたデジタル化推進のための「エストニア-UNDP チーム」を迎え協議を実施した<sup>4</sup>。同チームはモーリシャスにおいてデジタル化を進める上での潜在的な課題や問題を特定し、今後の計画や戦略について分析を行い、モーリシャス政府の関係者のデジタル化への理解を深める支援を実施した。これに基づき同チームはデジタル化に向けた診断報告書を作成したが、これはモーリシャス技術通信革新省が主導するデジタル化ロードマップの策定に活用される。

## 現地の専門家に関する情報

国際電気通信連合（ITU）によると、ムハマド・アリーム・ボーカス氏（**Mr Mahmad Aleem Bocus**）<sup>5</sup>は ICTA 局長を歴任（2017 年 3 月任命）。臨時国家弁護士、地方治安判事などを務めた経験を有し、現在は開業弁護士である。2002 年 8 月から 2006 年 1 月まで ICTA と Postal Authority の法務部長/理事長を務めていた。The University of the West Indies で規制・政策（電気通信）分野の修士号を取得。The University of Mauritius で法学士（LLB Hons）を取得。The Council of Legal Education Mauritius による弁護士認定、マルタの Internet Governance Diplo Foundation（IGCBP）による認定、マルタの The Advanced Internet Governance Capacity Building Programme (e-voting and e-participation) Diplo foundation による認定も取得している。

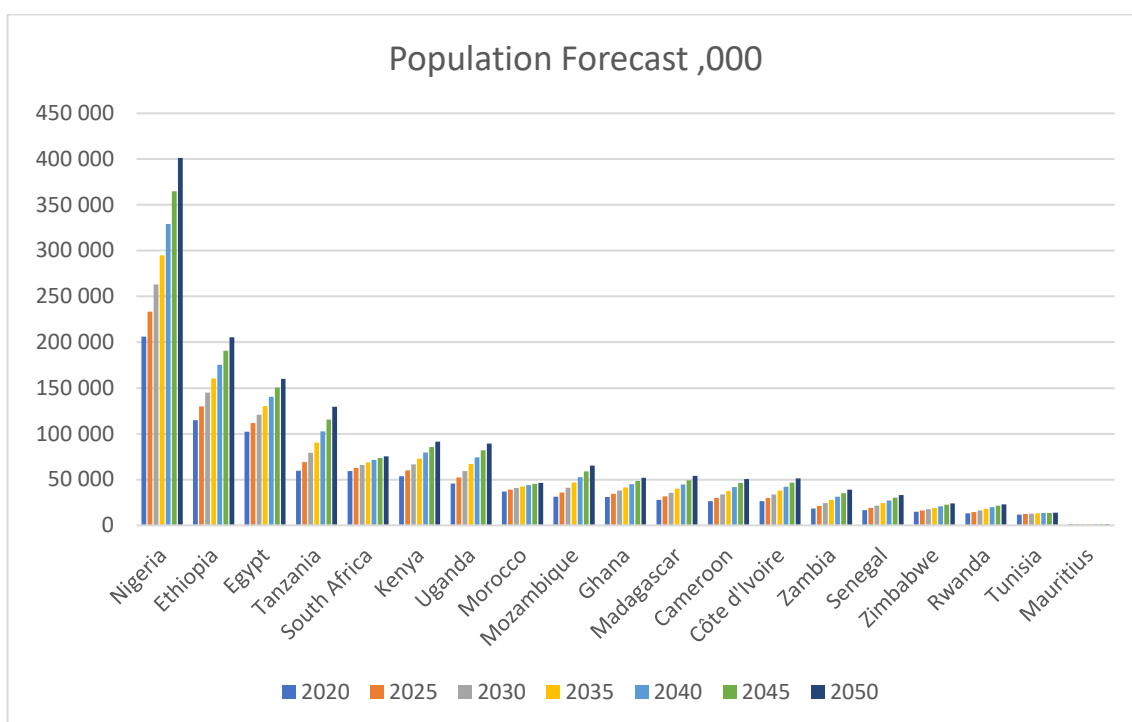
---

<sup>4</sup> [https://www.mu.undp.org/content/mauritius\\_and\\_seychelles/en/home/news-centre/news/digital-transformation-as-sustainable-development-pathway-in-mau.html](https://www.mu.undp.org/content/mauritius_and_seychelles/en/home/news-centre/news/digital-transformation-as-sustainable-development-pathway-in-mau.html)

<sup>5</sup> <https://www.itu.int/net4/ITU->

[D/CDS/InteractiveProgramme/Calendar/biography.asp?MeetingCode=GET-2019&speaker=152](https://www.itu.int/net4/ITU-D/CDS/InteractiveProgramme/Calendar/biography.asp?MeetingCode=GET-2019&speaker=152)

## 人口見通し

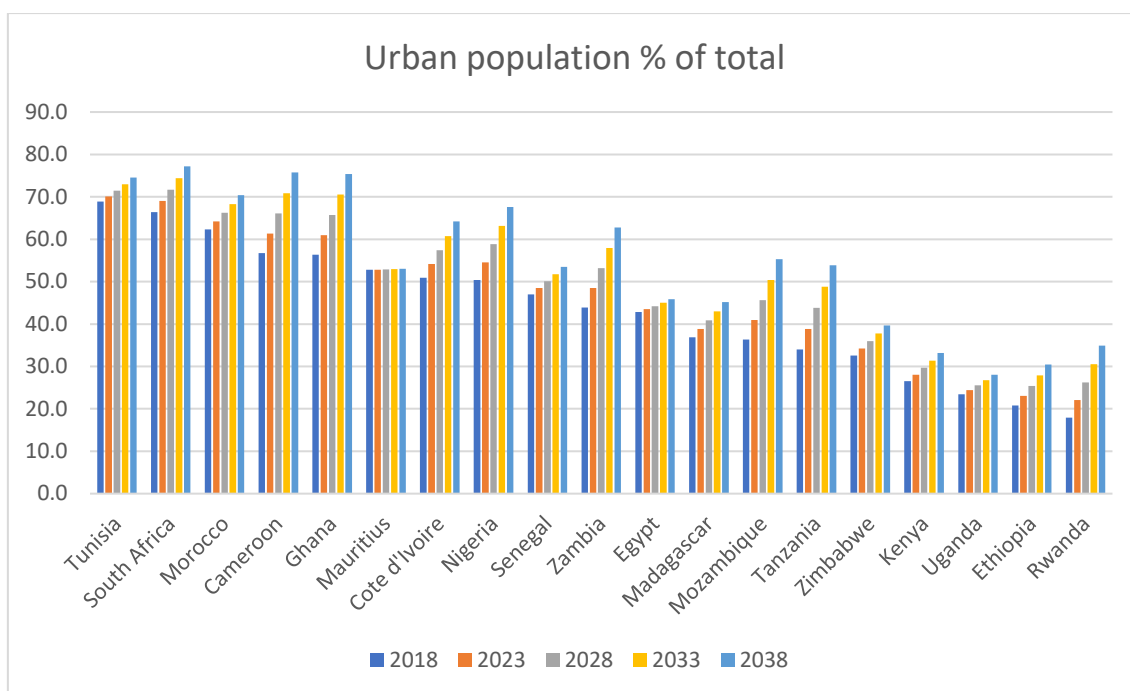


## 人口見通しの推移（単位：1,000人）

国名	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
ナイジェリア	206,140	233,343	262,977	294,986	329,067	364,712	401,315
エチオピア	114,964	129,749	144,944	160,231	175,466	190,611	205,411
エジプト	102,334	111,728	120,832	130,340	140,350	150,355	159,957
タンザニア	59,734	68,934	79,163	90,416	102,587	115,596	129,387
南アフリカ	59,309	62,803	65,956	68,819	71,375	73,620	75,518
ケニア	53,771	59,981	66,450	73,026	79,470	85,669	91,575
ウガンダ	45,741	52,294	59,438	66,889	74,455	82,013	89,447
モロッコ	36,911	39,010	40,887	42,541	43,973	45,182	46,165
モザンビーク	31,255	35,985	41,185	46,786	52,729	58,928	65,313
ガーナ	31,073	34,409	37,833	41,332	44,883	48,461	52,016
マダガスカル	27,691	31,510	35,622	39,949	44,471	49,175	54,048
カメルーン	26,546	30,032	33,766	37,722	41,873	46,172	50,573
コートジボワール	26,378	29,888	33,713	37,783	42,083	46,589	51,264
ザンビア	18,384	21,197	24,326	27,722	31,338	35,149	39,121
セネガル	16,744	19,062	21,551	24,228	27,088	30,088	33,187
ジンバブエ	14,863	16,110	17,596	19,212	20,864	22,465	23,948
ルワンダ	12,952	14,577	16,234	17,922	19,634	21,357	23,048
チュニジア	11,819	12,347	12,756	13,078	13,353	13,598	13,797
モーリシャス	1,272	1,277	1,274	1,264	1,245	1,218	1,186

（出所）国連人口予測（中位推計）

## 都市人口



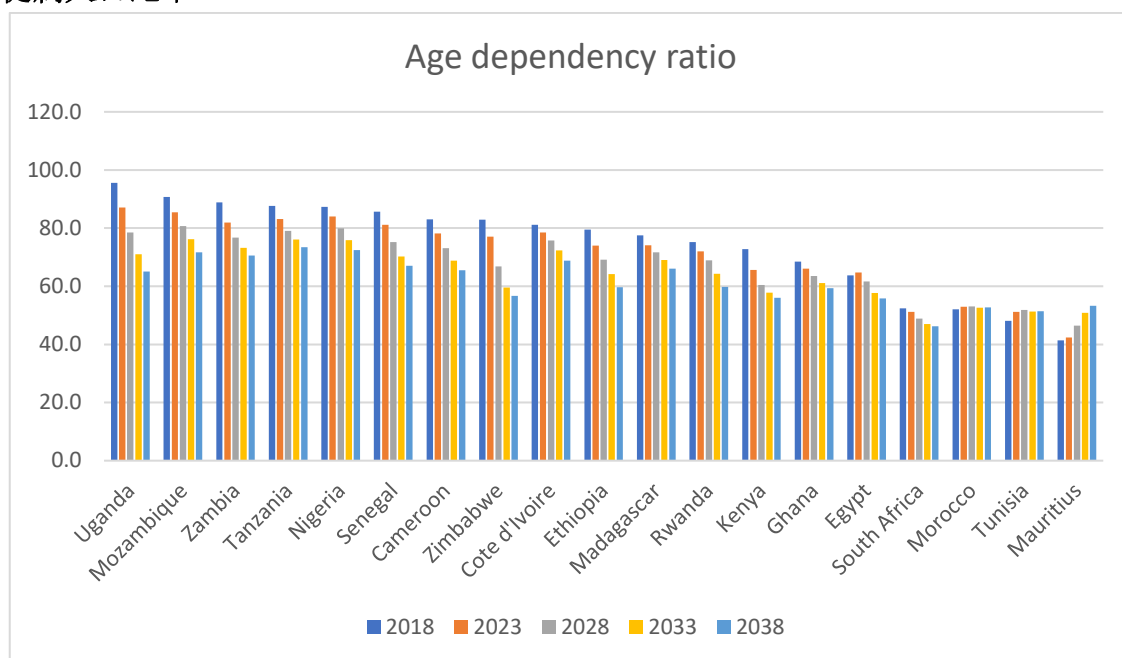
### 都市人口比率の長期予測（単位：％）

国名	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年
チュニジア	68.9	70.1	71.5	73.0	74.6
南アフリカ	66.4	69.0	71.7	74.4	77.2
モロッコ	62.3	64.2	66.2	68.3	70.4
カメルーン	56.7	61.3	66.1	70.9	75.7
ガーナ	56.3	61.0	65.7	70.5	75.4
モーリシャス	52.8	52.8	52.8	52.9	53.1
コートジボワール	51.0	54.1	57.4	60.8	64.2
ナイジェリア	50.4	54.6	58.8	63.2	67.6
セネガル	47.0	48.5	50.1	51.7	53.5
ザンビア	43.9	48.5	53.2	58.0	62.8
エジプト	42.8	43.5	44.2	45.0	45.9
マダガスカル	36.9	38.8	40.9	43.0	45.2
モザンビーク	36.4	40.9	45.6	50.4	55.3
タンザニア	34.0	38.9	43.8	48.8	53.9
ジンバブエ	32.6	34.2	36.0	37.8	39.6
ケニア	26.5	28.1	29.7	31.4	33.1
ウガンダ	23.4	24.4	25.6	26.8	28.1
エチオピア	20.8	23.0	25.4	27.9	30.4
ルワンダ	17.9	22.0	26.2	30.5	34.9

(出所) オックスフォード・エコノミクス



## 従属人口比率



## 従属人口比率(注)の推移(単位:%)

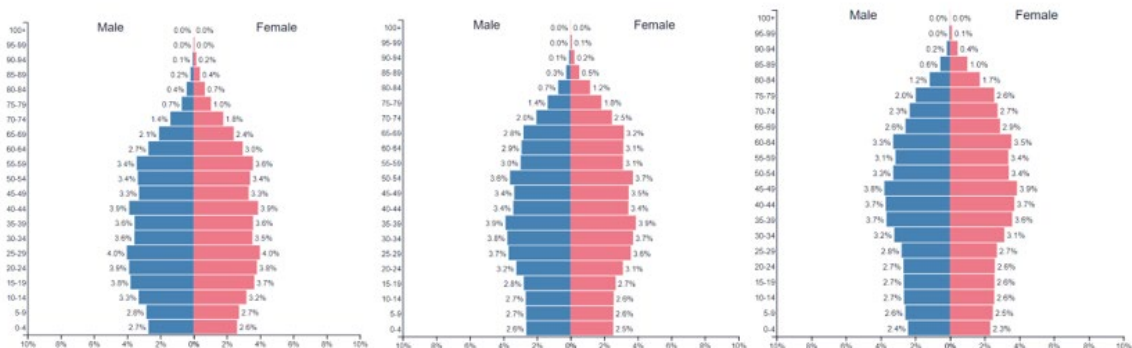
国名	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年
ウガンダ	95.6	87.1	78.4	71.0	65.0
モザンビーク	90.7	85.5	80.7	76.2	71.7
ザンビア	88.8	81.9	76.7	73.2	70.5
タンザニア	87.6	83.1	79.1	76.1	73.5
ナイジェリア	87.3	84.1	79.9	75.8	72.4
セネガル	85.7	81.2	75.2	70.2	67.0
カメルーン	83.0	78.2	73.1	68.9	65.5
ジンバブエ	82.9	77.0	66.8	59.6	56.7
コートジボワール	81.1	78.5	75.8	72.3	68.8
エチオピア	79.5	74.0	69.1	64.2	59.6
マダガスカル	77.5	74.1	71.6	69.0	66.0
ルワンダ	75.2	72.0	68.9	64.3	59.8
ケニア	72.8	65.6	60.4	57.8	56.1
ガーナ	68.5	66.1	63.5	61.2	59.3
エジプト	63.8	64.7	61.7	57.7	55.9
南アフリカ	52.4	51.2	48.8	47.0	46.2
モロッコ	52.1	53.0	53.1	52.6	52.7
チュニジア	48.2	51.1	51.8	51.3	51.4
モーリシャス	41.4	42.4	46.5	50.9	53.3

(注) 従属人口比率：働き手である生産年齢人口（15歳から64歳）100人が、働き手でない年少者（0歳から14歳）と高齢者（65歳以上）を何人支えているかを示す比率。（年少人口＋老年人口）÷生産年齢人口×100

(出所) オックスフォード・エコノミクス

## 年齢別人口（左から順に 2019 年、2029 年、2039 年）

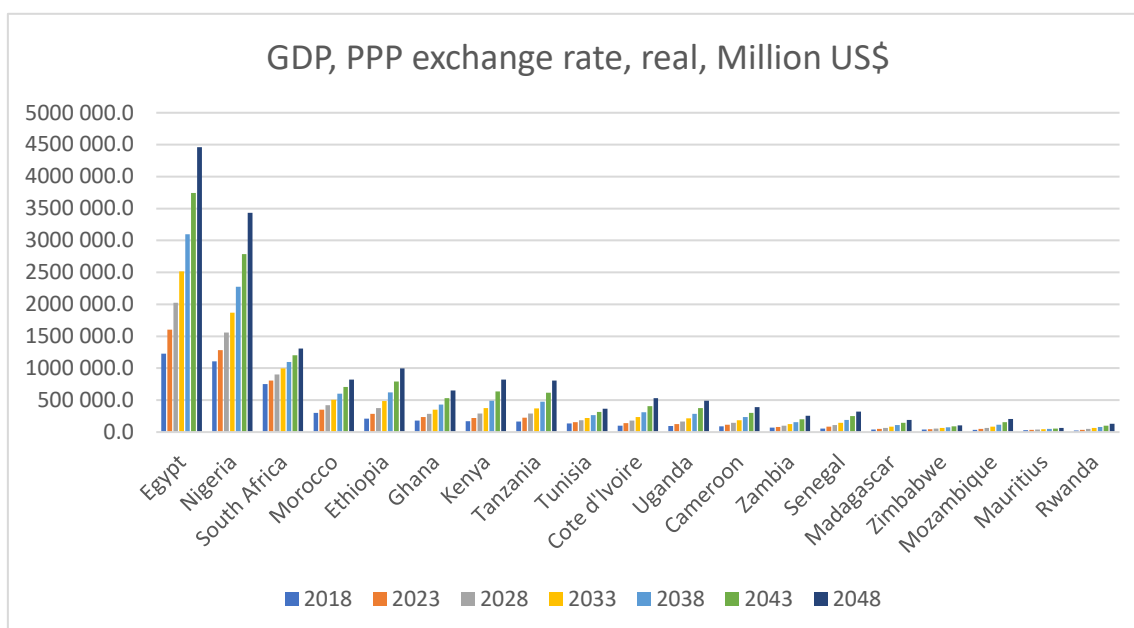
Mauritius 2019, 2029, 2039



<https://www.populationpyramid.net/>

(出所) オックスフォード・エコノミクス

## GDP 長期予測

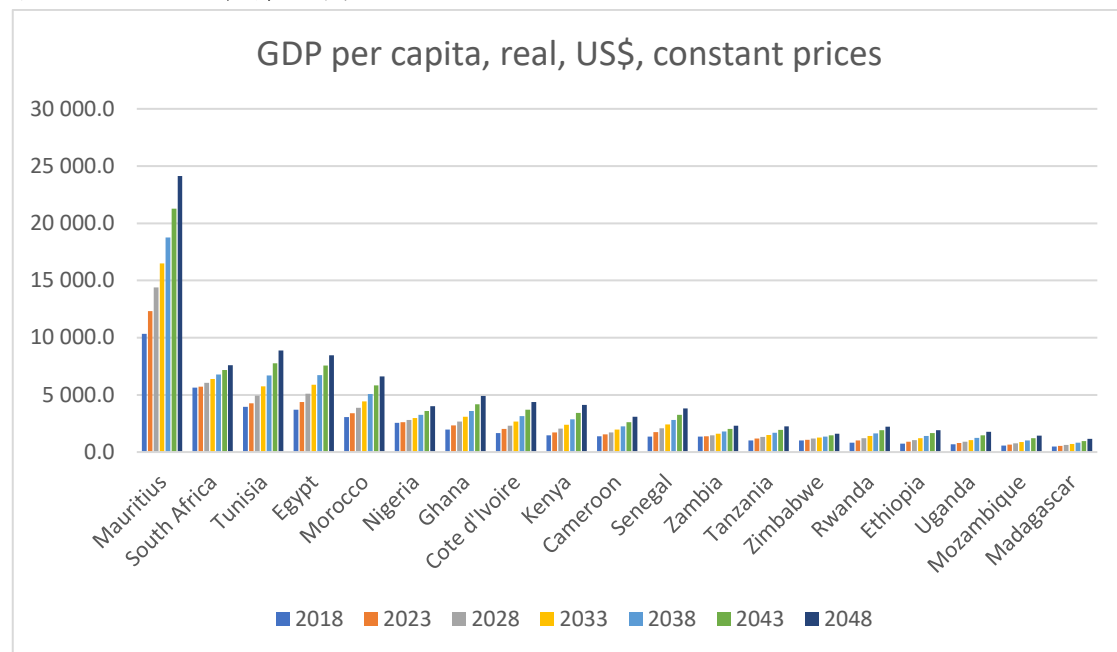


### GDP 名目値の長期予測（単位：100 万ドル）

国名	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年	2043年	2048年
エジプト	1,229,060	1,601,770	2,027,200	2,515,650	3,096,490	3,745,020	4,463,450
ナイジェリア	1,109,150	1,285,420	1,557,450	1,870,620	2,273,820	2,786,850	3,431,060
南アフリカ	749,467	807,861	901,702	996,871	1,097,940	1,201,433	1,306,891
モロッコ	298,354	352,279	423,229	504,857	600,492	707,560	822,726
エチオピア	208,434	286,915	378,297	488,263	623,661	791,078	994,897
ガーナ	182,078	233,506	285,563	348,957	429,139	529,263	653,568
ケニア	168,945	221,444	291,223	377,394	490,072	635,583	820,850
タンザニア	167,436	223,915	288,627	371,274	477,186	618,587	804,949
チュニジア	137,002	155,800	186,386	222,905	265,866	314,371	365,618
コートジボワール	101,563	140,661	182,283	237,117	310,243	405,966	531,386
ウガンダ	93,163	124,804	165,332	216,636	284,634	374,840	492,318
カメルーン	90,694	113,985	144,444	183,222	234,341	301,403	389,101
ザンビア	69,447	81,073	99,983	125,084	157,379	199,613	254,518
セネガル	56,830	83,164	111,789	146,263	191,065	248,217	321,251
マダガスカル	40,684	52,246	66,681	85,611	111,111	145,241	190,596
ジンバブエ	38,772	45,572	55,681	65,053	76,066	89,112	105,227
モザンビーク	37,184	49,218	66,614	87,244	114,921	152,960	204,806
モーリシャス	28,479	34,197	39,978	45,509	51,174	56,898	62,937
ルワンダ	26,020	36,607	48,832	62,697	79,803	101,375	128,282

（出所）オックスフォード・エコノミクス

## 1人あたり GDP 長期予測



## 1人あたり GDP 長期予測 (単位：ドル)

国名	2018年	2023年	2028年	2033年	2038年	2043年	2048年
モーリシャス	10,325	12,321	14,400	16,485	18,766	21,269	24,119
南アフリカ	5,632	5,710	6,051	6,397	6,778	7,176	7,597
チュニジア	3,944	4,274	4,928	5,731	6,683	7,752	8,873
エジプト	3,693	4,386	5,114	5,877	6,714	7,564	8,452
モロッコ	3,045	3,392	3,875	4,430	5,085	5,817	6,606
ナイジェリア	2,549	2,604	2,796	2,988	3,249	3,584	4,000
ガーナ	1,963	2,327	2,675	3,083	3,582	4,182	4,899
コートジボワール	1,648	2,012	2,308	2,672	3,132	3,694	4,384
ケニア	1,470	1,723	2,040	2,399	2,852	3,418	4,117
カメルーン	1,385	1,535	1,726	1,955	2,247	2,614	3,074
セネガル	1,361	1,744	2,068	2,402	2,801	3,268	3,824
ザンビア	1,361	1,376	1,476	1,616	1,793	2,022	2,310
タンザニア	1,025	1,185	1,328	1,492	1,686	1,935	2,244
ジンバブエ	1,009	1,067	1,182	1,260	1,351	1,462	1,606
ルワンダ	821	1,021	1,219	1,413	1,637	1,906	2,228
エチオピア	735	893	1,050	1,221	1,419	1,652	1,922
ウガンダ	678	781	909	1,054	1,239	1,476	1,771
モザンビーク	556	639	754	866	1,010	1,199	1,444
マダガスカル	488	550	620	708	823	972	1,159

(出所) オックスフォード・エコノミクス